

第6期

Shimizu town 2021~2030

# 清水町総合計画

まちに気づく まちを築く とかち清水

～ 想いをミライに繋ぐまち～

概要版

北海道 清水町



## はじめに



清水町は、明治31年4月渋沢栄一氏が設立した十勝開墾合資会社によって開拓の鍬がおろされました。季節ごとにその彩を変える日高の山並みに抱かれた大地に希望を求め多くの方が入植し、美しくも厳しい自然に翻ろうされながらも開拓を続けたそのたくましい精神は、脈々と町民に受け継がれ、文化の薫り高い、農業を基幹産業とする今日の清水町が築かれてまいりました。

令和3年3月1日現在、清水町の人口は、9,279人（住民基本台帳ベース）です。第5期清水町総合計画開始当初（平成23年3月31日時点）は10,232人であり、10年間で953人の人口が減少しました。しかし、清水町の農業は大きな基盤の上に成り立ち、牛乳生産は14万6千トンと十勝第1位の生産量を上げるなど農業総生産額は2年連続で300億円を突破し、さらに地域に根差した食品製造業も盤石であるため、経済基盤が強く将来に向けて持続可能なまちであるといえます。

第6期総合計画の策定に際し行った町民アンケートで、「町の強み」としてあげられたものは大きくわけて4つあります。1つ目は「交通の要衝」、2つ目は、「豊かな自然と景観」、3つ目は、「食と農業」、4つ目は「第九やアイスホッケー等の文化スポーツ」です。このように、高いポテンシャルと可能性をたくさん持っているのが私たちの住む清水町ですが、これから取り組まなければならない課題もたくさんあります。同じく町民アンケートであげられた「町の課題」で一番多かったのは、「まちの強みはたくさんあるが、それを活かしてきれていない」というものでした。これからのまちづくりは、町の強みを活かして課題を克服していくことが必要であり、人口減少が進行するなかで小さくても質の高いサービスを提供し、みなさんの幸福感を増やしていくことが重要です。そしてさらに、お互いの支えあいにより、モノの充足だけではなく、心の豊かさを形成することが大切となります。

第6期総合計画で掲げたまちの将来像「まちに気づく まちを築く とかち清水～想いをミライに繋ぐまち～」には、豊かな自然と、先人により培われた歴史や地域性豊かな資源を尊重し、郷土愛を醸成するとともに、人との絆や心のつながりがあふれる地域コミュニティで住み続けたいと思えるまちを築いていくという想いが込められています。

町民一人ひとりがまちづくりを自分ごと化し、「自分ができること」、「地域ができること」、「行政の役割」を考え、それら相互補完により協働のまちづくりを着実に前に進め、新たな舞台を切り開いていく所存です。

おわりに、清水ミライ自分ごと化会議委員の皆様をはじめ、総合計画審議会委員、策定過程に参画いただいた多くの皆様に、深く感謝の意を表しますとともに、今後のまちづくりの実践に対しましてご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

令和3年3月

北海道清水町長 阿部 一男

# まちのミライ設計図

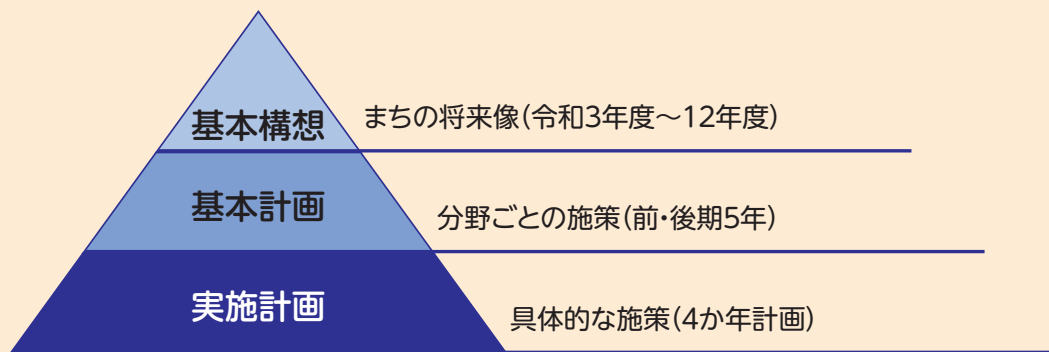
～総合計画策定にあたって～

「第6期清水町総合計画」は、常に変化し続ける社会情勢や町の課題に寄り添い、中長期的なビジョンで、まちの強みを活かして課題を克服する戦略的なまちのミライ設計図です。

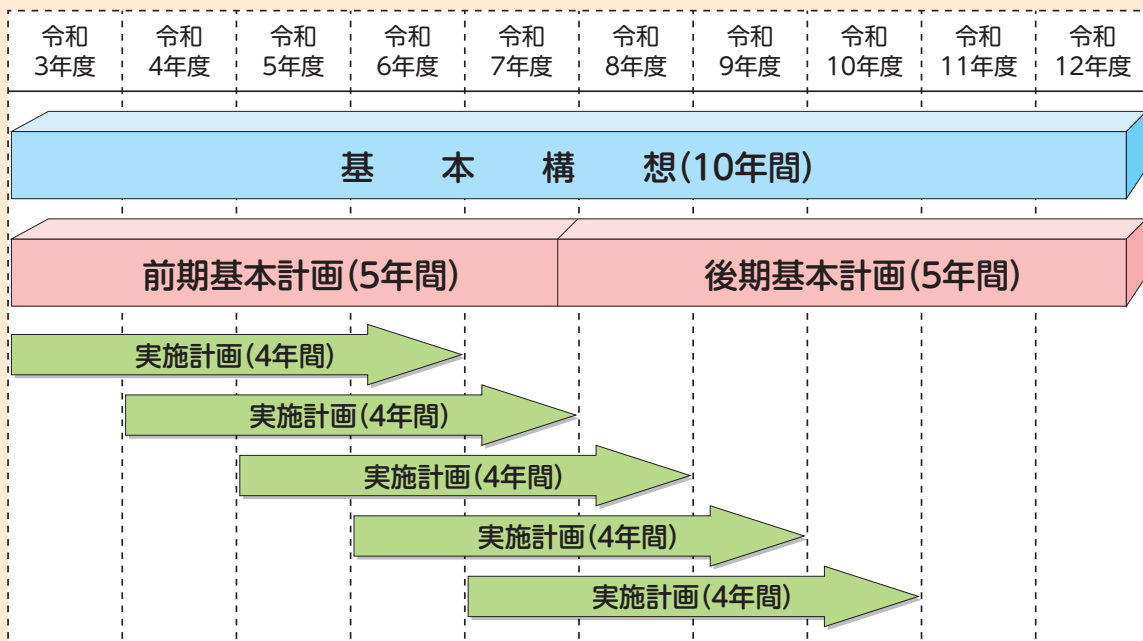
清水町では、人口減少や少子高齢化が進行するなかでも、このまちに住み続けたいと思える施策を進めます。

全ての町民がまちに誇りと愛着を持ち、まちづくりを自分ごととして捉えられる多様な対話を重ねるとともに、自主性と自立性のある地域コミュニティからミライに挑戦し続けるまちづくりを進めます。

## 第6期計画の構成と計画期間



## 第6期清水町総合計画の期間



## 基本構想

令和3年度から令和12年度までの10年間における本町の「まちの将来像」と計画期間におけるまちづくりの理念、さらには人口の将来展望や重点項目を定めます。

## 基本計画

6つの分野に基づく施策体系を構築し、それぞれの分野で現状と課題から基本的方向と数値目標を示し、関連分野と関連事業を定め、基本構想に掲げるまちづくりの基本理念に基づく施策を定めます。計画期間は令和3年度から令和7年度までの5か年を前期の計画期間として定め、前期終了時に目標の達成状況の評価及び検証を行うとともに、社会情勢や町の課題、住民の思いなどの変化に伴う見直しを行い、後期計画を定めます。

## 実施計画

基本計画で示した分野ごとの施策を具現化するため、施策体系ごとに必要とされる事務事業を定めます。毎年度ローリングにより基本計画期間中に必要に応じた見直し等を行い、総合計画の実効性を高めます。中期的な視点で実行することから、計画期間を4年間と定めます。

## まちの将来像

# まちに気づく まちを築く とかち清水 ～想いをミライに繋ぐまち～

豊かな自然と先人により培われた歴史や地域性豊かな資源を尊重し、  
郷土愛を醸成するとともに、  
人との絆や心のつながりがあふれる地域コミュニティで  
住み続けたいと思えるまちを築きます。

## まちに 気づく

まちの強みや先人から受け継いできた郷土の誇りや魅力に、町民一人ひとりが気づき可能性を信じ理解していく姿勢。まちをより良くしようという思い。

## まちを 築く

支え合う地域コミュニティのなかで、まちづくりを自分ごととして捉え、幸福感や満足感を増やすことができる持続可能なまちづくりを実践すること。次世代へつなぐ今を築くという思い。

## とかち 清水

交通の要衝で利便性が高い道東の玄関口である十勝の自治体としての自覚と誇りを持つこと。「清水」と聞いただけでも多くの人に認知してもらえる魅力ある町となり、十勝を牽引していくという強い思い。

## 想いを ミライに 繋ぐまち

「まちに気づく、まちを築く」という思いを実践することによって叶える清水町の将来像を、サブタイトルで表現。一人ひとりが多様な未来を描いてほしいという思いや、老若男女、全ての世代への親しみやすさ、更に未来という言葉に力強さを持たせるため、漢字ではなくカタカナの「ミライ」で表現し、歴史ある今の営みを脈々と次世代へつなぐことで、これまでも・これからも住み続けたいと思えるまちを築いていく思い。

これまでの第5期清水町総合計画を発展的に継承しながら、更に強みを活かし課題を克服するという視点で新たなまちのミライを目指します。

強みを活かして  
課題を克服する

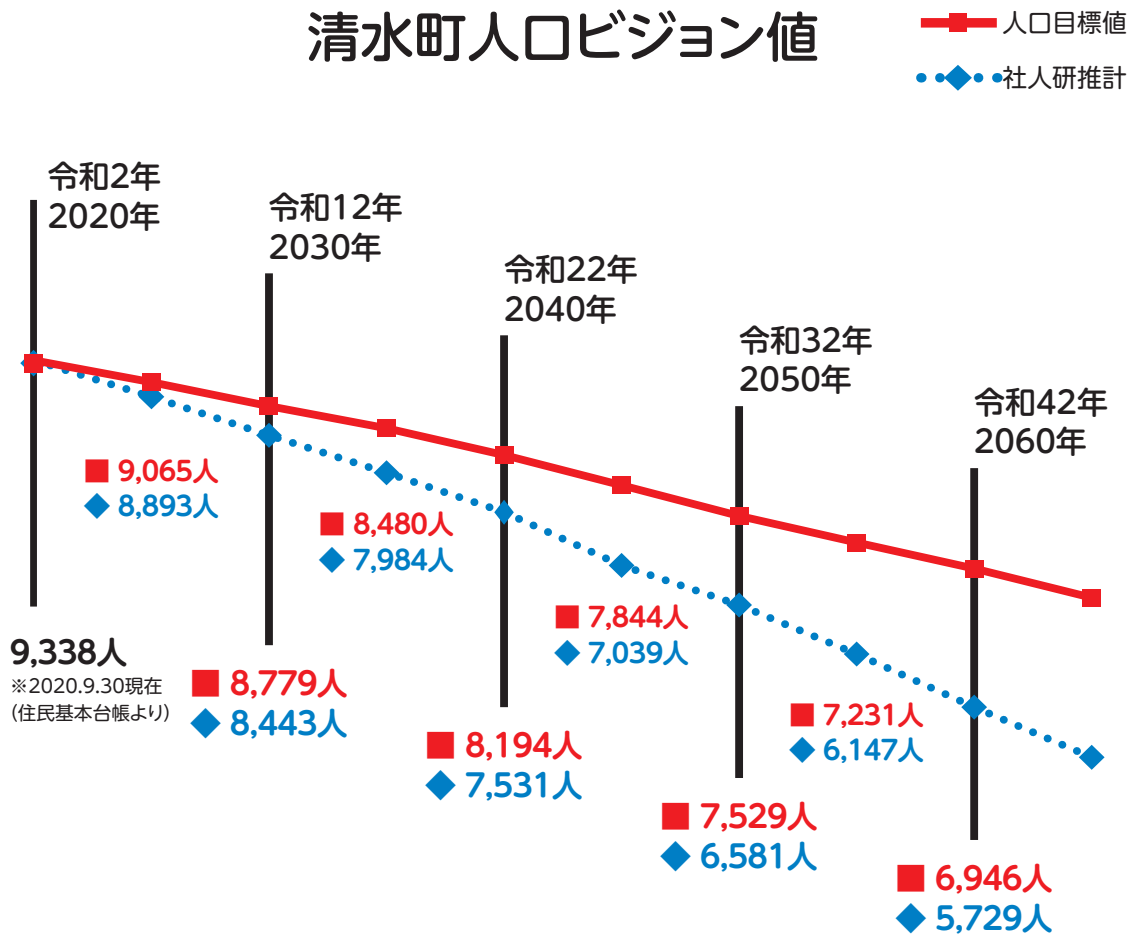
モノの充足  
だけでなく  
心の豊かさを  
形成する

小さくても  
質の高い  
サービスを提供し  
住む人の幸福感を  
増やす

まちの規模が小さくなるなかで施策毎の健康・福祉、子育て、教育、文化などの質を高める施策を展開し、清水町に住む人の幸福感や満足感を増やすことができるまちのミライを目指します。

各々ができることから取り組む「自助」、地域で協力して解決する「共助」、行政と協働して取り組む「公助」の相互補完のもと、人とのつながりを大切に地域で支え合えるまちのミライを目指します。

## 清水町人口ビジョン値



人口目標(独自推計)  
合計特殊出生率…1.6  
純移動率…社会減を0.5倍、社会増を1.5倍

本町の人口は減少傾向にありますが、子育て世代の定住促進や出生率の向上、産業振興や雇用対策など、選ばれるまちとなる施策を積極的に展開することにより、第6期清水町総合計画における最終年の令和12年(2030年)に総人口を8,779人確保することを目指します。

# 計画の体系

## 第1編 安全・安心に暮らしつづけるまち

- 第1章 協働による環境保全
- 第2章 ごみの減量・再資源化の推進
- 第3章 交通安全対策の推進
- 第4章 防犯対策の強化
- 第5章 消防・救急体制の充実
- 第6章 消費生活の安心
- 第7章 災害に備える取組みの推進



町民が住み続けたいと思えるまちづくりを進めていくために、人にやさしい快適な生活環境の整備を推進する必要があるため、自然に負荷をかけない地域循環型まちづくりを推進するとともに、防災対策や消防体制、交通防犯対策など、次世代につながることのできる安全・安心な生活環境を確保できるまちをつくります。

## 第2編 健やかで笑顔あふれるまち

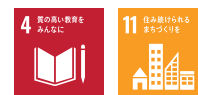
- 第1章 健康寿命の延伸
- 第2章 高齢者福祉サービスの充実
- 第3章 障がい者（児）の生活の充実
- 第4章 安心のある生活への支援
- 第5章 切れ目ない子育て支援の充実



少子高齢化が進行するなか、町民の健康増進や福祉の向上のために、予防対策や自立支援の充実や、地域と一体になった切れ目ない子育て支援などにより、安心して子どもを産み育てることができ、そしてすべての町民が支え合い、健やかに生活することができるまちをつくります。

## 第3編 学びから生きる力を育むまち

- 第1章 地域とともに進める魅力ある教育の推進
- 第2章 高校振興の充実
- 第3章 文化芸術活動の推進
- 第4章 スポーツ活動の推進
- 第5章 生涯学習の推進



生きる力と郷土愛を受け継ぐ「学び」を推進し、確かな学力と豊かな心を持つ人材を育む教育を実践するとともに、町民が自主的に学び交流する文化やスポーツの機会を地域と見つけられるまちをつくります。



## 第4編 地域資源と産業を活かし挑戦するまち

- 第1章 農業の生産基盤整備と経営基盤強化
- 第2章 地場産品の振興
- 第3章 商店街のにぎわい創出
- 第4章 地域の潤いにつながる交流の展開



活力あるまちづくりを進めるために、食や農業などの強みを活かした十勝清水のブランド化を図るとともに、地域資源を生かした交流人口拡大によって、地域が潤いのにぎわいに満ちたまちをつくります。

## 第5編 快適で安らぎを感じられる住みよいまち

- 第1章 道路整備と利便性の向上
- 第2章 快適な市街地と都市計画
- 第3章 公共交通の利便性向上
- 第4章 人が集い憩える公園・緑地の維持
- 第5章 住み続けたい住環境の整備
- 第6章 移住・定住と交流
- 第7章 安全な水道水の安定供給
- 第8章 環境に優しい快適な下水道の整備



人口減少や少子高齢化が進行するなか、町民誰もが暮らしやすいと感じることができる豊かな生活基盤整備を進めるとともに、長期的視点で居住機能や公共交通機能などを小さくても質の高いサービスを提供し、町民の満足度が高まるまちをつくります。

## 第6編 多様なつながりで協働するまち

- 第1章 町民主体の住民活動
- 第2章 広報広聴の充実による魅力の発見と情報発信
- 第3章 町民参加のまちづくりの実現
- 第4章 多文化共生の推進
- 第5章 持続可能な行財政運営
- 第6章 町有財産の適正管理と利活用
- 第7章 広域行政の推進
- 第8章 新たな生活様式の実現とまちのミライ



社会情勢や町の財政状況が厳しさを増すことが見込まれる中、まちの明るいミライを創造していくために町民参加のまちづくりを更に実践し、多様な対話の実現からまちづくりを自分ごととして捉えられる機運と環境があるまちをつくります。

各体系にSDGsのゴールを関連付けることで  
一体的に推進していきます。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### SDGsとは

「Sustainable Development Goals」の略で、2015年9月の国連サミットで採択された先進国も含む2030年度までの長期的な国際社会全体の開発目標です。「誰一人取り残さない」持続可能で多様性と包摂性のある社会の実現に向けて令和12(2030)年を年限とする17のゴールと169のターゲットから構成されます。

# 第1編 安全・安心に暮らしつづけるまち

## 第1章 協働による環境保全

【自然環境に配慮する取組みが行われている】

### ■基本的方向

環境に関する学習・教育の充実を図り、環境保全意識を醸成します。

不法投棄、ポイ捨て防止のため、定期的なパトロールによる監視・指導の徹底や看板設置などの啓発を実践します。

省エネルギーの推進や、再生可能エネルギーの利用を促進します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●クリーンデイの参加者数



#### ●ボランティア清掃の実施件数



#### ●バイオガスプラント普及率



### ■関連事業

環境衛生一般事務、し尿収集及び運搬事業、バイオガスプラント利活用促進事業

### ■SDGs



## 第2章 ごみの減量・再資源化の推進

【自然環境に配慮する取組みが行われている】

### ■基本的方向

効率的なリサイクル施設の運営と資源化率の向上を図ります。5Rの推進を町民・事業者・行政が連携し、それぞれが役割を担いながら、リデュース（発生抑制）、リユース（再使用）、リサイクル（再資源化）、リペア（修理）、リフューズ（不要なものもらわない）を積極的に取り組み、地域循環型社会の構築を推進します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●資源リサイクル率



#### ●町民一人1日あたりのごみ排出量



### ■関連事業

ごみ収集業務、マテリアルリサイクルセンター施設運営事務

### ■SDGs



### 第3章 交通安全対策の推進

【交通安全が保たれる仕組みがある】

#### ■基本的方向

警察や関係機関と連携した交通安全意識向上のための啓発、ライフステージに応じた交通安全教育の充実を図ります。安全で円滑な道路交通の確保や歩行者の安全を確保します。地域と連携した町民参加型の交通安全対策を推進します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●交通安全啓発活動の参加人数



##### ●交通安全教室の参加人数



##### ●免許返納した高齢者でタクシーチケットの交付を受けた人数



#### ■関連事業

生活安全・交通安全事業

#### ■SDGs



### 第4章 防犯対策の強化

【防犯体制が保たれる仕組みがある】

#### ■基本的方向

町民の防犯意識の向上と地域住民による自主的な防犯活動を推進します。犯罪に巻き込まれないよう防犯に関する学習機会や情報の提供を行います。空家等に必要な対策を講じます。家庭・学校・地域との連携を強化し地域の見守り体制の充実を図るとともに子ども110番の家・店登録を推進します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●防犯啓発活動人数



##### ●廃屋解体撤去事業件数割合



##### ●子ども110番の家・店登録数



#### ■関連事業

生活安全・交通安全事業、生活環境安全対策事業（廃屋解体撤去事業）

#### ■SDGs



## 第5章 消防・救急体制の充実

【町民の安全・安心を守る消防・救急体制の充実】

### ■基本的方向

町民の防災意識の醸成と、消防団員との連携などにより地域防災力の強化を図ります。

火災予防の徹底と住宅用火災警報器などの設置を促進します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●消防団員の充足率



#### ●救命講習の受講者数



#### ●住宅火災報知機設置率



### ■関連事業

御影消防庁舎建替事業、とちち広域消防事務組合負担金、清水・御影消防団事業、消防施設整備事業

### ■SDGs



## 第6章 消費生活の安心

【消費生活の安心が確保されている】

### ■基本的方向

関係機関と連携し、被害の早期発見と迅速な救済対策を行います。

自ら考え判断できる能力を育成する授業や講座を開催し、児童生徒の段階から消費者意識を醸成します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●消費生活出前講座実施回数



### ■関連事業

消費経済費事務

### ■SDGs



## 第7章 災害に備える取組みの推進

【地域に安心できる防災の仕組みがある】

### ■基本的方向

「自助」、「共助」、「公助」の基本理念に基づき自主防災組織の充実を図り、相互の連携を深め総合的な地域防災力を強化します。

防災行政無線をはじめとしたあらゆる手段を活用した確実な情報伝達を実施します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●自主防災組織率



#### ●防災情報配信システム登録者数



### ■関連事業

防災対策事業

### ■SDGs



## 第2編 健やかで笑顔あふれるまち

### 第1章 健康寿命の延伸

[心身ともに健康に暮らせる仕組みがある]

#### ■基本的方向

町内医療機関と連携し健康診査や各種検診の受診率の向上に努め、健診データから自らの健康状態を意識できるよう支援し、疾病予防や早期受診につなげ重症化を予防します。  
町内医療機関の機能充実と経営安定を支援します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●特定健診受診率



##### ●健康教室・講話等実施回数



##### ●平均自立期間(健康寿命の指標となる期間)



#### ■関連事業

健康診査事業、保健予防事業、地域医療対策事務

#### ■SDGs



### 第2章 高齢者福祉サービスの充実

[老後不安なく暮らすことができる]

#### ■基本的方向

介護予防や健康寿命の延伸など一貫した取組みを実践します。  
地域社会の中で支え合いながら活動する地域サロンや地域カフェを充実します。  
認知症の正しい知識の普及や、認知症の方とその家族への支援体制の充実を図ります。  
地域包括ケアシステムを構築します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●介護予防教室参加者数



##### ●在宅福祉サービス登録者数



##### ●地域カフェの回数



##### ●認知症サポーター養成講座



#### ■関連事業

在宅福祉サービス事業、居宅介護支援・介護予防支援事業、地域カフェ事業

#### ■SDGs



#### ★自分ごと化会議での意見★

地域での見守りとして近隣の高齢者への気配りと、高齢者側も周りに頼るという姿勢が大切。

### 第3章 障がい者(児)の生活の充実

【お互いに支え合い、自分らしく暮らし続けることができる】

#### ■基本的方向

障がい者(児)自身とその家族のライフステージを考えた「地域で暮らし続けられる」支援を実施します。  
障がい者(児)とその家庭を社会全体で支え、きめ細やかな支援と療育・教育環境を充実します。  
障がい福祉の枠の中だけで考えずに、様々な社会資源を巻き込んだ取組みを実行します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●きずな園の満足度



##### ●障がい者雇用に取り組む企業数



#### ■関連事業

障がい者支援事業(自立支援給付)、特別支援教育推進事業

#### ■SDGs



##### ☆20の提案(12)☆

いま以上に子どもを産み、育てやすい環境(空気)を作る。特に障がいを持つ親子を町全体で支える体制づくり。

### 第4章 安心のある生活への支援

【地域のなかで支え合う仕組みがある】

#### ■基本的方向

「生きづらさや関わりを拒否する人、孤立しがちで自ら声を発することが出来ない人」がいることに気がつき、様々なつながりを活用して生活課題を解決できる地域をつくります。  
子どもたちの学習支援や地域食堂など、自分が「支える側」にも「支えられる側」にもなる、世代や分野を越えた交流・参加・学びができる地域コミュニティをつくります。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●生活支援コーディネーター事業等から実現した事業件数



##### ●共生型つどいの場の利用者



#### ■関連事業

生活支援コーディネーター事業、共生型つどいの場事業

#### ■SDGs





## 第5章 切れ目ない子育て支援の充実

【親子ともに不安なく暮らす】

### ■基本的方向

男女の出会いや結婚の機会、子どもを持ちたいと希望する人への支援を創出します。

出産から子育て、教育へとライフステージに合わせた切れ目ない支援を提供します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●合計特殊出生率



#### ●生涯未婚率



#### ●ファミリーサポート提供会員数



#### ●子育て世帯定住促進住宅取得奨励事業



### ■関連事業

結婚・少子化対策事業、子育て支援事業、子育て世帯定住促進住宅取得奨励事業

### ■SDGs



#### ★自分ごと化会議での意見★

雇用や住環境を整備し「子どもたちが戻ってくることができる町」を実現。

子育てしやすい町を町外に発信していくことで選ばれる町になることが大切。



# 第3編 学びから生きる力を育むまち

## 第1章 地域とともに進める魅力ある教育の推進

【自ら学び取り組む環境がある】

### ■基本的方向

『心響』の理念の浸透と、しみず「教育の四季」の指標を実践します。  
歴史や地域資源を活かした学習「十勝清水学」による郷土愛を醸成します。  
学校施設の老朽化対策、適正規模・適正配置を計画的に検討します。  
少人数学級の推進や奨学金・義務教育の負担を軽減します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●朝食を食べている児童生徒の割合



#### ●「清水町が好き」と答える児童生徒の割合



### ■関連事業

幼保・小連携教育推進事業、  
父母負担軽減事業、奨学金貸  
付事業、小中学校施設改修・  
整備事業

### ■SDGs



#### ★自分ごと化会議での意見★

自分たちが町の魅力を掘り下げて考えることで、自然と町外へは発信されていくもの。子供たちに郷土愛教育を実践し、将来的な発信力へと繋げる。

## 第2章 高校振興の充実

【地元の高校を守り育てる】

### ■基本的方向

生徒の学習意欲を掻き立てる学習環境整備を支援します。  
幼・保・小・中それぞれと交流により清水高校を身近に感じる機運を醸成します。  
保護者負担の軽減を支援します。  
清水高校の強みを生かした広報活動に取り組みます。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●幼保小中との交流回数



#### ●清水高校支援(通学補助者数)



#### ●町内企業への就職率



### ■関連事業

高校振興事業

### ■SDGs



### 第3章 文化芸術活動の推進

[文化や芸術に親しむ機会がたくさんある]

#### ■基本的方向

多彩な文化芸術活動に親しむ機会や優れた文化芸術を鑑賞する機会を創出します。

文化団体やサークル活動など、主体的な文化芸術活動への支援や第九文化継承を実施します。

ふるさとの歴史を再発見し郷土の文化として継承します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●文化会館利用者人数



##### ●文化協会事業参加者人数



##### ●文化芸術の活動機会が提供されていると答えた人の割合



#### ★自分ごと化会議での意見★

子どもたちが「第九」をドイツ語で歌える、学校のチャイムも「第九」など、「第九」に対する思い入れが強いので、もっと身近に第九に接することが出来るようにしたほうが良い。

#### ☆20の提案(6)☆

子どもの頃から第九を歌えるという特徴をさらに町内に浸透させ、第九をはじめとした文化活動の実施・支援体制を強化。

#### ■関連事業

芸術文化活動奨励事業、郷土文化振興事業、芸術鑑賞事業、第九文化継承事業

#### ■SDGs



### 第4章 スポーツ活動の推進

[充実したスポーツ活動ができる]

#### ■基本的方向

安全で安心なスポーツ活動ができる環境を整備します。

青少年スポーツ活動を支援します。

アイスホッケー教室など競技力向上に向けた支援や各種スポーツの指導者を養成します。

気軽にできる軽スポーツの普及を推進します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●体育館利用者人数



##### ●アイスアリーナ利用者人数



##### ●体育協会事業参加者人数



##### ●スポーツの活動機会が提供されていると答えた人の割合



#### ★自分ごと化会議での意見★

アイスホッケーは、費用面で親の負担が大きいイメージがあり、触れる機会が減少してしまいがち。まずは手軽さを重視して体験してもらう機会を増やす。

町外からアイスホッケー留学を希望する子どもたちの受け入れ体制と、地元の子どものための支援が必要。「アイスホッケーのまち」という知名度を活用し、清水らしさの方策を展開してほしい。

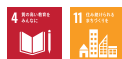
#### ☆20の提案(7)☆

80年の歴史があるアイスホッケーの町としての知名度を活用し、競技人口が減らないための対策を行う。

#### ■関連事業

少年スポーツ奨励事業、小中学生スポーツ活動送迎事業、一般スポーツ奨励事業、体育館等建設事業

#### ■SDGs



■基本的方向

町民のニーズや時代の変化に応じた学習情報の提供と学習機会を創出します。

身につけた知識や経験を活かし、主体的にまちづくりや地域活動などに参画できる場を拡充します。



■基本的方向に関連する主な目標数値

●公民館利用者人数



●図書館・郷土史料館利用者人数



●町内の公立施設の講座等で学習を行ったと答えた人の割合



■関連事業

青少年教育事業、図書館資料整備事業、中央公民館事業、御影公民館改修事業

■SDGs



☆20の提案(8)☆

文化ホールやアイスアリーナなどの維持管理を進める一方で、利用人数の少ない施設を見直すなど、メリハリを付けた施設運営を行う。



# 第4編 地域資源と産業を活かし挑戦するまち

## 第1章 農業の生産基盤整備と経営基盤強化

【豊かなまちの農産品を実感できる】

### ■基本的方向

新規就農支援や後継者対策、就農希望者とのマッチング機能強化などの労働力確保を実践します。  
持続性のある質の高い資源循環型農業を推進します。  
農村景観の維持保全に努めます。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●年間新規就農者数



#### ●デントコーン耕畜連携作付助成面積



#### ●にんにく作付面積



### ■関連事業

担い手確保・経営強化支援事業補助金、酪農人材確保対策補助事業、多面的機能支払事業、有害鳥獣駆除対策事業

### ■SDGs



#### ☆20の提案(2)☆

常に後継者を育成できる環境づくりを行う（新規就農をしやすくするなど）。

#### ☆20の提案(5)☆

農業の多面的機能の観点できれいな農村環境の維持に向けての対策を行う。

## 第2章 地場産品の振興

【誇りが持てる地域ブランドがある】

### ■基本的方向

農業を身近に感じる体験や学習機会を拡充します。  
地域資源を活かした質の高い農産物や加工品のブランド化、流通・販売と情報発信を強化します。  
イベント等を通して良質な農産物の地産地消を進める「十勝清水ブランド」化を推進します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●農村ホームステイ受入農家戸数



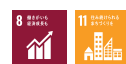
#### ●加工品のブランド化数



### ■関連事業

新商品開発研究事業、清水町食育推進協議会交付金

### ■SDGs



#### ★自分ごと化会議での意見★

農業の魅力を多くの人へ伝えるには「実際に農業に触れること」が最重要。子どもたちと農家が深い関わりの中で農業体験などを進め、清水の子どもたちにもっと農業を身近に、そして清水の食は豊かだということを感じてもらおう。

地元産が地元に戻っている感覚がありません。鮮度を強みとして清水の食材を清水で食することができれば、さらに郷土愛の地産地消意識が強くなる。

消費者ははな品などの規格外でも優れた産品を購入したい。清水の農産品を手軽に購入できる直売所で、内外共に清水の食をPRできると良い。牛ステーキ丼など地元が誇る地元の食は、価格帯や家庭で調理ができるというお手軽感が必要。ターゲットを町内と町外を明確に分けた考え方で地産地消の意識向上を図る。

#### ☆20の提案(1)☆

住民が農業や農業の情報に触れる機会を増やして、清水の最大の強みである農業（酪農）や食の特徴をさらに認知してもらう。

#### ☆20の提案(3)☆

地産地消を拡大することによって清水の食の魅力をさらに広める。

#### ☆20の提案(4)☆

食の先進地として、食育の重要性を伝える。

### 第3章 商店街のにぎわい創出

【にぎわいのある商店街がある】

#### ■基本的方向

各種イベントや商店街の空き店舗解消を推進し、まちなかのにぎわいを創出します。

商工会と連携し安定した経営基盤の確立、人材育成等をサポートします。

商業者が消費者とともに愛町購買運動を推進します。

企業等の誘致に努めるとともに、起業について支援を行います。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●空き店舗活用新規事業者数



##### ●起業等による新規事業者数



#### ■関連事業

清水町商工業活性化店舗開店等支援事業補助金、地域活性化応援商品券事業補助金、清水町商工業人材育成確保事業補助金交付事業、就業奨学生支援事務、起業・雇用促進補助金

#### ■SDGs



#### ☆20の提案(13)☆

若い世代が十勝に戻りたいと思ったときの受け皿（働く場）作りとともに起業して戻ってきやすい環境を用意する。

### 第4章 地域の潤いにつながる交流の展開

【人が集う場所とイベントがある】

#### ■基本的方向

町にゆかりのある地域との相互交流を進めるとともに、魅力ある産業観光ルートを確立します。

J A 十勝清水町、清水町商工会と連携し、イベントによる食を通じたまちの魅力を町内外に発信します。

魅力ある地元産品を発信する新たな拠点づくりと町内外への購買促進を実践します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●観光入込客数



##### ●観光協会ホームページアクセス数



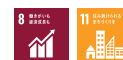
##### ●産直市場への出店店舗数



#### ■関連事業

観光振興事業、情報発信拠点整備事業

#### ■SDGs



#### ★自分ごと化会議での意見★

町の立地を考えれば道の駅設置を検討する必要がある。

#### ☆20の提案(9)☆

高速道路のインターチェンジがあること、JRの特急が止まることで札幌にアクセスしやすい利点をさらに活かす。

## 第5編 快適で安らぎを感じられる住みよいまち

### 第1章 道路整備と利便性の向上

【安全な交通網が保たれている】

#### ■基本的方向

計画的な修繕による長寿命化と、安全で快適な道路網を整備します。  
橋梁の長寿命化と安全に通行ができるよう計画的に修繕を行います。  
冬季間の交通の安全を確保します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●町道の舗装率



##### ●橋梁修繕



##### ●町道わだち掘れ等舗装補修



#### ■関連事業

町道整備事業・道路新設改良費事務、除雪対策事業

#### ■SDGs



### 第2章 快適な市街地と都市計画

【いつまでも住み続けたいと思える】

#### ■基本的方向

異世代が交流し、にぎわいと利便性の高いコミュニティを形成します。  
空地空家の利活用を促進します。  
活動・交流拠点の強化や生活サービス機能の集約・確保等により、利便性の高い生活圏の維持形成を推進します。  
ユニバーサルデザインを取り入れた公共空間づくりを目指します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●都市計画区域内人口



##### ●御影市街地人口



#### ■関連事業

都市施設管理事業、都市計画マスタープラン策定事業、駅前再開発事業

#### ■SDGs



### 第3章 公共交通の利便性向上

[交通の便が良く、移動しやすいと感じられる]

#### ■基本的方向

J R、都市間バス、コミュニティバスや買い物銀行バスが連携し、利用しやすい公共交通を構築します。  
十勝清水駅の利便性向上を図るため、J Rと連携し、バリアフリー化を進めます。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●コミュニティバス



##### ●清水帯広線バス



##### ●買い物銀行バス



#### ■関連事業

地域公共交通活性化事業

#### ■SDGs



#### ★自分ごと化会議での意見★

充実した町内の公共交通で交通弱者の方々にとって不自由のない環境は整っているが、利用時に介護の手を差し伸べられる体制を整えること、免許返納後の公共交通手段の確保など、現状を把握しさらに今後のあり方を考える必要があるのではないか。  
農村部と市街地の交通網を強化し高齢者だけでなく子どもの移動手段を確保。

#### ☆20の提案(11)☆

特に高齢者の移動手段を確保できるよう、今ある手段（コミュニティバス、清水帯広線バス（高校スクールバス回送利用）、買い物銀行送迎バスなど）をゼロベースで見直す。

### 第4章 人が集い憩える公園・緑地の維持

[安心して憩うことができる]

#### ■基本的方向

計画的な公園整備と適正な管理を行います。  
清水公園を町内外者の休憩型観光の拠点として整備します。  
子どもから高齢者の異世代が交流できる公園を整備します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●清水公園入込客数



#### ■関連事業

清水公園再整備事業、公園・観光施設管理（公園遊具更新事業含む）

#### ■SDGs



#### ☆20の提案(14)☆

未就学児や小学校低学年の子どもたちが外で遊べる（遊びたいと思える）環境を整備する。

#### ☆20の提案(10)☆

通過点ではなく目的地となるような場所（車中泊できる場所など）の設置やイベントを企画（清水公園の活用など）する。

#### ★自分ごと化会議での意見★

高速道路インターチェンジ、J R駅、高速バスの停留所が御影地区にも清水地区にもあり北海道の主要的な地域へのアクセスの良さが利点といえるが、景観だけでなく、飲食店やボートがあり、若者や家族連れなど多くの人が利用している清水公園に、さらに子育て世帯をターゲットとしたアスレチック施設や、車中泊のできるような設備を整備することができたら清水町が通過されない目的地となる。現状の課題として子育て支援の制度はしっかりしているが、子どもの遊び場が不足している。



## 第5章 住み続けたい住環境の整備

【いつまでも住み続けたいと思える】

### ■基本的方向

民間活力を活用した住宅の供給を図り、世帯向けの賃貸住宅建設業者や個人住宅のリフォームを支援します。

老朽化が進む町営住宅の統廃合や更新を検討し、適正な供給量の確保と適切な維持管理に努めます。

全ての世代が快適で安心して暮らせる住環境を整備します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●移住定住賃貸住宅建設補助件数



#### ●町営住宅戸数



### ■関連事業

公衆浴場施設管理事務、共同墓地等整備事業、葬斎場管理事務、公営住宅等建設事業

### ■SDGs



## 第6章 移住・定住と交流

【いつまでも住み続けたいと思える】

### ■基本的方向

移住定住の情報発信と相談体制を強化します。

家賃補助や住宅取得支援を行います。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●移住者数



#### ●奨励金交付件数(住宅取得)



#### ●奨励金交付件数(家賃助成)



### ■関連事業

移住者定住促進住宅取得奨励事業、定住促進住宅取得奨励金交付事業、移住者賃貸住宅家賃奨励金交付事業、定住促進賃貸住宅建設補助金交付事業、ふるさとワーキングホリデー

### ■SDGs



## 第7章 安全な水道水の安定供給

【いつまでも住み続けたいと思える】

### ■基本的方向

未普及地域の解消に努め、安心・安全な水を供給します。  
水源等の水質検査の定期的な実施や監視体制を維持します。  
浄水場や配水管などの水道施設の適切な維持や計画的な更新を行います。  
経営戦略を見直しながら安定した上水道事業を経営します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●有収率



### ■関連事業

水道事業（資本的支出）、水道事業（未普及地域解消）、家庭用浄水器設置費補助事業

### ■SDGs



## 第8章 環境に優しい快適な下水道の整備

【いつまでも住み続けたいと思える】

### ■基本的方向

環境衛生の向上を図り、快適で良好な生活環境を維持します。  
下水道施設の長寿命化や耐震化などの適切な維持管理を行います。  
経営戦略を見直しながら安定した下水道事業を経営します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●汚水処理人口普及率



### ■関連事業

公共下水道事業（資本的支出）、集落排水事業（資本的支出）

### ■SDGs



# 第6編 多様なつながりで協働するまち

## 第1章 町民主体の住民活動

【地域のなかに支え合う仕組みがある】

### ■基本的方向

最も身近な組織で相互扶助の役割を果たす支え合いを推進します。  
地域コミュニティ活動拠点である施設を適正に配置します。  
参加したくなるような充実した町内会等活動を支援します。  
転入者とのつながりを強くするコミュニケーションを推進します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●町内会等加入率



#### ●町ボランティアセンター登録数



#### ★自分ごと化会議での意見★

少しずつ昔のような近所付き合いのできる環境に戻していく。  
情報発信という点でも町内会の役割は大切。地域でみんなが聞いて（行政へ伝え）みんなで解決する雰囲気をつくる。

#### ☆20の提案(15)☆

地域で高齢者を支えられるよう、これまで以上に町内会や近所付き合いが活発になるための方策を考える。

### ■関連事業

住民活動事務、地域集会所維持管理事務

### ■SDGs



## 第2章 広報広聴の充実による魅力の発見と情報発信

【町内外にまちの情報が行き届いている】

### ■基本的方向

特色あるまちの取組みや魅力を効率的に発信します。  
町民全体が情報発信の主体となり、住民の視点からの魅力を発信する機運を醸成します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●町ホームページへのアクセス数



#### ●意見、提案情報の共有件数



#### ★自分ごと化会議での意見★

「強みはあるけど活かしきれていない」という点は、食や農業を含む観光を外にPRしていく前に、自分たちの町のことをどのくらいの人知っているのかを追求すべき。

#### ☆20の提案(17)☆

情報発信を、行政と住民との重要なコミュニケーションツールと位置づけ、情報の伝え方などに関する方針を定める。

#### ☆20の提案(18)☆

まちの中にある魅力の掘り起こしと、その魅力をさらに磨き上げるための体制や仕組みを作る。

### ■関連事業

情報発信事務（ホームページ等）、広報発行事務、広報広聴一般事務

### ■SDGs



### 第3章 町民参加のまちづくりの実現

【主体的にまちづくりに参加している】

#### ■基本的方向

まちづくり基本条例に基づいた協働のまちづくりを実践します。  
まちづくりを自分ごととして捉えられる多様な対話を実現します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●提案型まちづくり事業提案件数



##### ●無作為抽出による住民参加応募率



#### ■関連事業

まちづくり基本条例事務、  
町民提案型まちづくり事業

#### ■SDGs



#### ☆20の提案(19)☆

情報発信をきっかけとして、清水の未来をみんなで考え、それぞれの立場でまちづくりに関わり続ける。

### 第4章 多文化共生の推進

【地域のなかに支え合う仕組みがある】

#### ■基本的方向

福祉や医療、教育など外国籍町民が不安を感じることなく生活できる体制を整えます。  
行政情報の多言語化、外国人の窓口相談対応等を充実します。  
小中学校の児童生徒との交流事業を実施します。



#### ■基本的方向に関連する主な目標数値

##### ●情報の多言語化アイテム数



##### ●ICTを活用した交流事業



#### ■関連事業

交流事業（国際交流・各地清水会等）、情報発信事務（ホームページ等）

#### ■SDGs



## 第5章 持続可能な行財政運営

【信頼できる行政である】

### ■基本的方向

安定的な財源の確保を図り、最少の経費で最大の効果を挙げます。

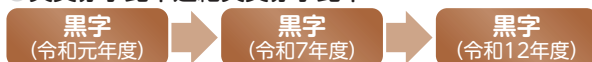
新たな行政課題や多様化する町民ニーズに対応できる、柔軟で合理的な組織構築と幅広い視野と発想力でチャレンジする職員を育成します。

新たな政策や条例、計画の策定について、決定過程を明確にした行政を実現します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●実質赤字比率連結実質赤字比率



#### ●実質公債費比率



#### ●将来負担比率



### ■関連事業

職員研修事務、行政管理事務、  
財産管理事務

### ■SDGs



#### ☆20の提案(20)☆

上記の提案項目の実現において、人口減少や税収減など、清水町の財政状況を十分に勘案しながら進める。

## 第6章 町有財産の適正管理と利活用

【いつまでも住み続けたいと思える・信頼できる行政である】

### ■基本的方向

町民参画を得て、将来の人口動態や行政コストから誰もが使いやすい施設整備、施設の適正規模や配置等を見極めます。

公共料金や使用料について受益者負担の公平性を確保します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

#### ●施設整備長寿命化計画の策定



### ■関連事業

庁舎管理事務、総務課所管分普通財産事務

### ■SDGs



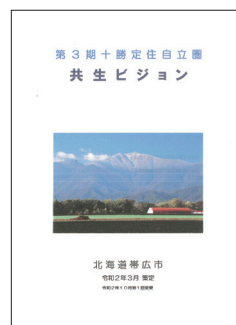
## 第7章 広域行政の推進

【スリムで効率的な行政である】

### ■基本的方向

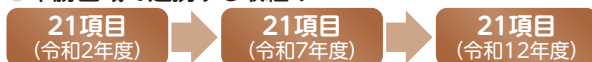
関係市町村と機能分担や共同処理により行政サービスを向上します。

持続可能な十勝を次世代につなぐため、自治体の垣根を越えた職員連携を図ります。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

- 十勝圏域で連携する取組み



### ■関連事業

広域振興事業（十勝圏等）、地方創生連携事業

### ■SDGs



## 第8章 新たな生活様式の実現とまちのミライ

【ミライに歩む仕組みがある】

### ■基本的方向

感染症防止対策として新北海道スタイルの徹底に努めます。

迅速でわかりやすい情報共有に取り組みます。

感染拡大防止と地元商店街支援等社会経済活動の両立を図ります。リモートワーク等の働き方改革、教育におけるIT化導入を推進します。

審議会等のオンライン導入による新たな町民参加機会を増幅します。



### ■基本的方向に関連する主な目標数値

- 感染防止資材等の配付率



- 授業や各種会議等のオンライン環境整備



### ■関連事業

新型コロナウイルス感染症対策事業、まちづくり基本条例事務

### ■SDGs



まちに気づく まちを築く とかち清水  
～想いをミライに繋ぐまち～

第6期清水町総合計画

概要版

令和3年1月28日 議決

発行 令和3年3月

編集 清水町企画課

〒089-0192 上川郡清水町南4条2丁目2番地

# 第6期清水町総合計画

概要版



Tokachi  
SHIMIZU

